

令和2年度 徳島県立徳島北高等学校 学校評価計画

I 本校の学校経営の基本方針

生徒がはつらつと活動する活力ある学校づくりと保護者・地域社会から信頼される学校づくりに取り組み、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を身に付けることができる教育の実現に努める。

2 本年度の重点目標

- (1) 自ら学ぶ姿勢と自主的・自律的な行動力を育成する。
- (2) 人権を尊重する豊かな心を育成し、好ましい人間関係を築かせる。
- (3) 授業の工夫・改善と充実に努め、確かな学力を身に付けさせる。
- (4) 生徒一人一人の個性や創造性を伸長させて、進路希望の実現をめざす。
- (5) 國際的視野を持ち、地域社会に貢献できる人材を育成する。

3 本年度の各課の取組

ア 企画課

* 総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

| 重点課題・重点目標 | 評価指標（と活動計画） | 評価 | 学校関係者評価 | 次年度への課題と方策 |
|---|--|------------|------------------|------------|
| I 総合的な学習/探究（K-TOP）の時間の充実を図る。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 (評定) | |
| | ①探究活動が生徒にとって充実したものであったか、当初の目的が達成されたかをアンケートを実施し調査する。「とても満足している」「まあまあ満足している」と回答する生徒が90%以上である。 | | (所見) | |
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | | |
| | ①K-TOPでの探究活動の内容が充実するような計画を立て、実施しながら修正をしていく。 ②担当者で協議し、見直していく。 ③教務・情報課と連携し、探究活動の時間を確保する。 | | | |
| 2 効果的なICT機器の活用及び、生徒の主体的な学びを推進するため、授業改善を図る機会を作る。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 (評定) | |
| | ①ICT機器を使った授業は、あなたの興味・関心を高めている」と回答した生徒の割合が90%以上である。 ②授業評価アンケートの実施と分析方法を改善する。 | | (所見) | |
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | | |
| | ①授業改善週間等を利用し効果的活用とアクティブラーニング型授業の推進をする。 ②授業評価アンケート項目と実施集計方法を見直す。 | | | |

イ 総務課

* 総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

| 重点課題・重点目標 | 評価指標（と活動計画） | 評価 | 学校関係者評価 | 次年度への課題と方策 |
|----------------------------------|---|------------|------------------|------------|
| I PTA行事を精選し、内容を充実させることにより活性化させる。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 (評定) | |
| | ①生徒の新しい時代を生き抜く力の育成を支援するために、保護者において有効な情報を5件以上提供する。 ②PTA役員の負担軽減のために、PTA役員関連の行事（第2回理事会・幹事会）の見直しを図る。 | | (所見) | |
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | | |
| | ①保護者に有効な情報を、ホームページ等において知らせる。 ②PTA役員の連絡調整をスムーズに行うために、PTA専用 | | | |

*総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

ウ 教務・情報課

| 重点課題・重点目標 | 評価指標（と活動計画） | 評 價 | 学校関係者評価 | 次年度への課題と方策 |
|--|--|------------|------------------------------|------------|
| 1 生徒の多様な進路目標の実現につながる教育課程を編成することで、主体的に学ぶ意欲・態度を育成する。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 (評定) (所見) | |
| | ①本校の教育課程について、「生徒の進路目標に対応し、個性を伸ばし将来の希望を実現できるよう工夫されている」と回答した割合が80%以上である。 ②教育課程検討委員会、職員会議等の開催回数を学期に1回以上確保する。 ③教科会の開催回数を月に1回以上確保する。 | | | |
| 2 生徒の目標を明確にさせ、主体的に学ぶ姿勢を育成することで、学習意欲の向上や学力向上を図る。 | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | | |
| | ①各学年や各課と連携し、生徒の学力や進路希望調査等を分析し、可能な範囲で履修学年や開設科目・履修単位数を見直す。 ②教育課程や大学入学共通テスト等に関する情報提供・交換や共通理解を図り、生徒の実態把握に努め、適正な教育課程を編成する。 | | | |
| 3 生徒が明確な目標を持ち、主体的に学ぶ態度の育成ができる学習環境づくりや学校運営を行う。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 (評定) (所見) | |
| | ①教員において、「教科指導における基礎基本の徹底を図っている」と回答した者及び「学習意欲の向上や学力向上への取り組みができている」と回答した割合が95%以上である。 ②各定期考査において、欠点保持者数が10%以下である。 ③各定期考査において、成績優秀者（80点以上）の割合が、20%以上である。 | | | |
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | | |
| | ①授業改善週間を設けて（年間2回）、各教科における目標や効果的な指導方法等についての研究・改善を行う。その際、授業評価を行うことで、指導方法の工夫や授業力の向上に努めるとともに、本校生徒の実態や課題について共通理解を図る機会を確保する。 ②各学期末考査前に「弱点教科補強指導講座」を開講し、苦手科目についてのポイントを指導することで、家庭学習の援助を行う。また長期休業中に「基礎学力養成講座」を開講し、基礎基本の定着に焦点を絞り、苦手科目の克服への援助を行うことで、欠点保持者数を減少させる。 ③集会等の機会を捉え、継続的な学習及び意欲の向上についての啓発を行う。 | | | |
| | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 (評定) (所見) | |
| | ①年間行事計画を見直し、生徒の進路目標等、生徒理解が可能なように年間3回の面接週間を確保する。 ②1・2年の年間授業時数が法定時数の85%以上である。 | | | |
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | | |

| | | | | |
|----------------------|--|------------|------|--|
| | ①面接週間をはじめ、担任等が十分生徒理解に努められるよう、行事の見直しや校務の精選、学校支援システムの研究に努める。 ②各課・学年等と連携を図り、日程等を調整することで、授業時数確保に努める。また、月曜日の授業については、特別時間割に組み込むなどバランスをとる。 | | | |
| 4 学校支援システムの適正運用に努める。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 | |
| | ①期限までの出欠入力が100%である。 ②期限までの学事処理が100%である。 | | (評定) | |
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | (所見) | |
| | ①1週間単位で出欠未入力を連絡する。 ②入力方法についての研修や案内をテスト時や期末に必要に応じて行う。 | | | |

エ 国際交流課

*総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

| 重点課題・重点目標 | 評価指標（と活動計画） | 評 價 | | 学校関係者評価 | 次年度への課題と方策 |
|---|---|------------|------|---------|------------|
| 1 徳島北高校において様々な国際交流を提供し、グローバルマインドを持った生徒を育てる。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 | | |
| | ①異文化学習の機会を年間3回以上提供する。 | | (評定) | | |
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | (所見) | | |
| | ①外部より講師等を招いて、グローバルな視点に立った考え方を受容するとともに、発信の練習をする。 ②海外からの訪問団を積極的に受け入れ、国際英語科、普通科ともに多くの生徒との交流の機会を計画する。 ③海外高校生とのICT交流を通して異文化理解を深める。 | | | | |
| 2 校外において豊かな国際交流の機会を提供し、グローバルマインドを持った生徒を育てる。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 | | |
| | ①海外研修（語学研修・派遣を含む）の参加者を50名以上にする。 | | (評定) | | |
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | (所見) | | |
| | ①より安全にプログラムを遂行するために、県や現地との連携を密にし、情報収集に努める。 ②海外研修の説明会など情報提供を充実させる。 ③事前指導を3回以上実施し、より充実した体験ができるよう準備する。 | | | | |

オ 図書課

*総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

| 重点課題・重点目標 | 評価指標（と活動計画） | 評 價 | | 学校関係者評価 | 次年度への課題と方策 |
|--|---|------------|------|---------|------------|
| 1 図書館の利用をとおして、学力の基盤となる読書習慣の育成を図り、将来にわたって主体的に学ぶ態度や読書を楽しむ態度を身に | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 | | |
| | ①一人当たりの図書館の年間利用回数が、80回以上である。 ②授業での図書館利用が、年間80回以上である。 | | (評定) | | |

つけさせる。

| | | | | |
|-----------------------------|--|------------|--------------|--|
| | ③各教科や総合的な学習(探究)の時間に、図書館を利用した授業や図書館の本を活用した授業を推進する働きかけを学期に1回する。 | | (所見) | |
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | | |
| 2 生徒が新聞記事を読み活用するきっかけづくりをする。 | ①(ア)各生徒の進路に応じて読んでおくべき本や、楽しめたり、教養を養える本を充実させ、「図書館だより」・「新着図書案内」を館内・館外掲示で広報する。また、各テーマの企画展示や特集など、わかりやすい館内・館外展示を工夫する。 ①(イ)ホームページに掲載できる情報を提供し、より多くの生徒達に学校図書館に関心を持ってもらう。 ①(ウ)ビブリオバトルや読書会、図書館展示等の図書課や図書委員会主催の企画を広報し、多くの人に参加してもらい、来館してもらう。 ②(ア)各教科の教職員に、授業に活用したい本や生徒に読ませたい本の購入希望図書カードを配付して、図書の利用の推進を図る。 ②(イ)図書館を利用した授業を、国語科・総合的な学習(探究)の時間をはじめ各教科と連携して計画し、読書活動や調べ学習を推進する。 ③(ア)図書館の利用状況、貸出状況を「図書館だより」等で教職員や生徒に適宜知らせて、読書活動の活性化を図る。 ③(イ)貸出の少ないクラスには、学年・クラス・教科等からの組織的な対応を依頼する。 ③(ウ)長期延滞者に対しては、丁寧で粘り強い指導をして改善を図り、継続的な貸出につなげる。 | | | |
| | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 (評定) | |

力 生徒課

*総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

| 重点課題・重点目標 | 評価指標（と活動計画） | 評価 | 学校関係者評価 | 次年度への課題と方策 |
|----------------------------|--|------------|--------------|------------|
| Ⅰ 生活習慣の確立を図り、健全な生活態度を育成する。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 (評定) | |
| | ①頭髪・服装の違反者を減少させ、再点検指導生徒の割合を1.0%以内にする。 ②遅刻者の数を昨年度より3.0%減少させる。 ③教員による登校指導を月1回、生徒による「あいさつ運動」を学期に1回実施する。 | | (所見) | |
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | | |

| | | | | |
|--------------------------------|--|------------|------|--|
| | ①月初めのクラス単位の服装頭髪点検、学期初めの学年一斉指導を実施する。常日頃から清潔感のある制服の着こなしができるように、学年団と連携・協力をしながら常時指導を徹底する。 ②遅刻指導週間を実施するとともに、多遅刻生徒の指導を徹底する。 ③生徒会や生活委員と協力しながら自発的な挨拶を喚起する。 | | | |
| 2 交通ルールを遵守させ、安全意識の向上を図る。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 | |
| | ①自転車交通事故数（昨年度28件）を10件以下にさせる。 | | (評定) | |
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | (所見) | |
| | ①(ア) 登校指導を月1回以上、徳島北署やPTAとの合同指導を年3回実施する。 ①(イ) 交通事故の状況について、教職員・生徒・保護者の共通理解が図れるよう、情報を提供する。 ①(ウ) 交通安全講話を実施する。 | | | |
| 3 携帯電話の安全な使い方を通して、情報モラルの育成を図る。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 | |
| | ①携帯電話の安全な使い方についての講演会を年1回以上実施する。 | | (評定) | |
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | (所見) | |
| | ①各関係機関と連携し、携帯電話安全教室を行い、情報社会におけるモラルを身につけさせる。 ②「人権教育ホームルーム活動」や「情報」の授業においても情報モラル教育を推進する。 | | | |

キ 人権教育課

*総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

| 重点課題・重点目標 | 評価指標（と活動計画） | 評 価 | 学校関係者評価 | 次年度への課題と方策 |
|---|---|------------|---------|------------|
| 1 人権ホームルーム活動の他、委員会活動や日々の活動など様々な機会をとらえて生徒の人権意識の高揚を図り、啓発活動に努める。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 | |
| | ①「人権意識が高まった」と答えた生徒の割合を80%以上にする。 ②「人権委員会だより」を読んでいる生徒の割合を65%以上にする。 | | (評定) | |
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | (所見) | |
| | ①人権ホームルーム活動や学校行事等で、自分の意見を発言し、他人の意見もしっかり聞くことができるなど、生徒に主体的に参加・体験をさせる。 ②「人権委員会だより」を生徒主体で作成し、ホームルーム活動などをを利用して、人権委員に記事内容の要旨をクラスで紹介させるなど生徒主体の活動を活発にする。 | | | |
| 2 全職員でいじめ防止をはじめとする人権教育の充実に取り組む。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 | |
| | ①「いじめは人間として許されない」と100%の生徒が認識している。 ②「学校は好ましい人間関係の構築のため学校行事やホ | | (評定) | |

| | | | |
|--|-----------|------|--|
| ームルーム活動・授業に真剣に取り組んでいる」と答えた生徒の割合を90%以上にする。 | | (所見) | |
| 活動計画 | 活動計画の実施状況 | | |
| ①教育活動全体を通じて、お互いの人格を尊重し合える校内環境をつくるため、人権ホームルーム活動だけでなく、学年別講演会などを実施する。 ②生徒の日常の言動と行動に注意を払い、不適切な場合は指導する。また、生徒一人一人を尊重し、面談等を実施していじめ防止に取り組む。 | | | |

ク 特別活動課

*総合評価：目標を大きく達成…A，概ね目標を達成…B，目標を達成できなかった…C

| 重点課題・重点目標 | 評価指標（と活動計画） | 評価 | 学校関係者評価 | 次年度への課題と方策 |
|---|--|------------|---------|------------|
| 1 学校行事（学校祭・球技大会等）の活性化を通して、生徒の自主的・自律的な行動を育成する。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 | (評定) |
| | ①学校評価アンケートにおいて、生徒一人一人が自己実現の場として学校行事を位置付け、「自主的・積極的に取り組むことができた」と回答した生徒の割合が85%以上である。 ②学校評価アンケートにおいて、「学校行事や生徒会行事には、生徒の意見が取り入れられている」と回答した生徒の割合が70%以上である。 | | (評定) | |
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | (所見) | |
| | ①生徒会役員が中心となり各行事計画をたて、全校生徒が自己的役割や責任を自覚し、生徒の意見ができるだけ計画に反映できるようにする。 ②各行事の事前・事後にアンケートを実施し、生徒自身に自らの取組についての状況を把握させ、今後の活動に生かせるようにする。 | | | |
| 2 ホームルームや部活動における友好的な人間関係の構築を中心に、豊かな心を育成する。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 | (評定) |
| | ①学校評価アンケートにおいて「あなたは、学校行事や部活動に友人や仲間と協力して取り組み、友好的な人間関係を築くことができた」と回答した生徒の割合が85%以上である。 ②教員及び保護者において、生徒が「望ましい人間関係を構築できている」と回答した割合が90%以上である。 | | (評定) | |
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | (所見) | |
| | ①各ホームルームでの人間関係を深め、生徒会や部活動での学年の枠を超えた人間関係も構築し、豊かな心を育成する。 ②ホームルーム担任や部活動顧問という立場で、生徒の人間関係をよく観察し適切な方向に導けるようにする。 | | | |
| 3 部活動の活性化を通して、生徒一人一人の個性や創造性を伸長させ、何事にも積極的に取り組む態度を育成する。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 | (評定) |
| | ①学校評価アンケートにおいて、生徒が「部活動は、学校生活を充実させるものとなっている」と回答した割合が85%以上である。 ②教員及び保護者においても、「部活動は、学校生活を充実させるものとなっている」と回答した割合が90%以上である。 | | (評定) | |
| | | | (所見) | |

| | | | | |
|---|--|------------|------|--|
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | | |
| | ①新入生対象の部活動紹介を充実させる。 ②部活動の活動時間を遵守し、また適切な休養日を設定するなど、各部で学業との両立が実現できるよう工夫する。 | | | |
| 4 國際的視野を持ち、國 際社会や地域社会に貢献す る姿勢を育成する。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 | |
| | ①地球市民講座において事後アンケートを行い「国際的視野を持つことができた」と回答した生徒の割合が85%以上である。 ②生徒会主催行事あるいは部活動において地域や社会貢献に通じる活動を年3回以上計画する。 | | (評定) | |
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | (所見) | |
| | ①地球市民講座が充実したものになるよう、国際交流課とも連携しながら計画する。 ②生徒会やJRC・ボランティア部などを中心に、さらに地域や社会貢献に通じる活動に積極的に取り組む。 | | | |

ケ 進路課

*総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

| 重点課題・重点目標 | 評価指標（と活動計画） | 評 價 | 学校関係者評価 | 次年度への課題と方策 |
|---|---|------------------------------------|---------|------------|
| I 主体的な学習習慣と確 かな学力の育成を図る。 (1) 家庭学習の習慣化を 図る。 (2) 確かな学力を身につ けさせる。 | 評価指標 ①平日の家庭学習（塾等での学習を含む）が1時間以上の生徒を90%以上にする。また、休日の家庭学習（塾等での学習を含む）が「(学年) + 1」時間以上の生徒を80%以上にする。 ②「午後9時までに家庭学習を始める」習慣が身についている生徒の割合を70%以上にする。 ③平日のスマートホン使用時間が2時間以内の生徒の割合を80%以上にし、学習時間の確保につなげる。 ④「学校の授業内容を理解している」と回答した生徒の割合を80%以上にする。 ⑤1, 2年生の学年単位で、補習の出席率を95%以上にする。 ⑥校外模試における各科目の平均点について、校内平均点が全国平均点以上となるようにする。 ⑦教員の教科指導研修会への参加率を高め、教科会等を通じた情報の共有を拡充する。 | 評価指標による達成度 （評定） （所見） | | |
| | 活動計画 ①②③生活記録表や生活実態調査を通して、現状の把握に努める。家庭学習が不足している生徒には担任が面談を実施し、原因の解明と改善を図り、具体的なアドバイスを行う。また進路説明会等で、家庭学習の現状とその重要性を保護者に認識してもらい、積極的なサポートを依頼する。 ④「予習」「授業」「復習」の学習スタイルを確立させ、課題や確認テストを実施し、授業内容の理解とその定着を図る。 ⑤補習に参加することの重要性を繰り返し指導する。遅刻・欠席が目立つ生徒には、担任、学年主任と連携し、継続的および段階的に指導を行う。 | 活動計画の実施状況 | | |

| | | | | |
|--|---|------------|------|--|
| | <p>⑥校外模試実施後に訂正ノートを提出させるなど、誤答箇所の見直しをさせる。また教科会で模試の検討を行い、事前と事後の対策を練る。</p> <p>⑦校外における教科指導研修会の情報を周知し、事後は教科会と資料の閲覧を通して情報の共有化を行う。</p> | | | |
| 2 キャリア教育を推進し、早期に進路目標を設定させ、主体的に自分の進路を決定させる。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 | |
| | <p>①1, 2年次にオープンキャンパスや看護体験、大学の講座、または体験授業等の活動に1回以上参加した生徒の割合を85%以上とする。</p> <p>②ポートフォリオを利用し、校内外で取り組んだ活動の振り返りを行う生徒の割合を100%とする。</p> <p>③2年生の11月末の進路調査で、「進路目標が明確になっている」と回答した生徒の割合を100%とする。</p> | | (評定) | |
| 3 地域社会に貢献できる人材の育成に向けてキャリア教育を推進するとともに、生徒の個性や創造力を伸長させて、進路希望を実現させる。 | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | (所見) | |
| | <p>①あらゆる機会を通じて、「将来の自分の生き方」を考えるとともに、体験的活動の情報提供に努め、2年生終了までには必ず1回は参加させる。</p> <p>②ポートフォリオの意義とその利用方法を周知し、振り返りと記録を徹底させる。</p> <p>③生徒や保護者に進路情報を提供し、各自の進路目標を設定させ、その実現に向けて主体的に学習する態度を育成する。また、「若楠」や「進路ニュース」を活用し、進路意識の高揚を図る。</p> | | | |
| | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 | |
| | <p>①就職ガイダンスや公務員セミナーなどの体験的活動を通して、主体的に自ら考える力を育て、就職を希望する生徒全員が、希望する進路を実現できる。</p> <p>②就職希望者や保護者と定期的に面談を行い、2学期末までに就職未決定者0名を実現する。</p> | | (評定) | |
| | 活動計画 | 活動計画の実施状況 | (所見) | |
| | <p>①望ましい職業観・勤労観の育成に向け、職業別説明会(1年)、公務員セミナー、就職ガイダンス(2年、3年)等の体験活動により、職業理解や働く意義を学ばせる。</p> <p>②卒業後就職したい仕事を自らが見つけ、その目標に向け、継続的に努力し、自主的な行動力が身に付くように導く。</p> <p>③企業就職希望者と早い時期から面談を重ね、希望の業種や職種を絞り込み、希望する企業から求人を得られるよう、精力的に職場開拓を行う。</p> <p>④公務員希望者には、公務員試験対策の専門家を学校に招き講習会を実施し、社会性の確立を目指す。</p> <p>⑤就職・公務員模試を年間6回実施し、進路を実現する確かな学力の向上を図る。</p> | | | |

コ 環境・防災課

*総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

| 重点課題・重点目標 | 評価指標（と活動計画） | 評価 | 学校関係者評価 | 次年度への課題と方策 |
|---|------------------------------------|------------|---------|------------|
| I SDGsへの理解を深め、校内外の環境美化及び環境問題に取り組む態度と実践力を育成する。 | 評価指標 | 評価指標による達成度 | 総合評価 | |
| | ①節電・節水を意識した学校生活を送り、前年度比2%使用量を節減する。 | | (評定) | |

| | | | |
|---|---|------------|------------------|
| | ②年間3回以上「ゴミゼロの日」を設定し、学校全体で環境問題について考えさせるとともに、環境・防災委員以外の参加者が毎回60人以上である。 ③アンケートで「日々の清掃に熱心に取り組み、ゴミの分別を心がけるなど校内美化に協力している」と回答した生徒の割合が85%以上である。 | (所見) | |
| 活動計画 | 活動計画の実施状況 | | |
| | ①掲示物や環境・防災委員からの声かけ等により、トイレでの日中の節電や移動教室時の消灯、節水の徹底を呼びかける。 ②校内及び学校周辺、勝瑞駅等の清掃ボランティア活動を、環境・防災委員や部活動生徒が中心となって積極的に行う。 ③積極的な案内を行い参加を募る。またその時の感想や体験談を各クラスに知らせる。 ④総合的な学習(探究)の時間で、SDGsへの関心を高めるとともに知識を深め、身近な環境問題に取り組ませる。 | | |
| 2 防災教育を推進し、身近に潜む危険から自らを守るのみならず、災害発生時及び事後に、進んで他の人々や地域の安全に役立つことができる人材を育成する。 | 評価指標 ①地震・津波及び地震・火災対応避難訓練を、それぞれ年1回早期に実施する。 ②環境・防災委員から啓発放送等を行い、防災に対する意識を高める。 ③校外で行われる防災関係の行事を案内し、15名以上の参加者である。 | 評価指標による達成度 | 総合評価 (評定) |
| | 活動計画 ①学校行事やホームルーム活動の時間を利用し、専門家の講演やDVD等の防災教材により、様々な危険や災害に、自主的に対応できるよう防災意識の向上を図る。 | 活動計画の実施状況 | (所見) |

サ 保健・教育相談課

*総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

| 重点課題・重点目標 | 評価指標（と活動計画） | 評価 | 学校関係者評価 | 次年度への課題と方策 |
|---|---|------------------------|------------------|------------|
| I 自分の心や体の健康に関心を持ち、課題解決に向けて実践できる生徒を育成する。 | 評価指標 ①学校評価アンケートにおける「あなたは、自分の心やからだの健康に関心を持ち、健康な生活を送るよう心がけている」に「あてはまる」と回答した生徒の割合を85%以上にする。 ②学校評価アンケートにおける「学校は生徒の安全や健康管理に十分注意している」及び「学校では健康や安全に配慮した指導が行われている」について、「あてはまる」と回答した生徒及び保護者の割合を85%以上にする。 | 評価指標による達成度 (評定) | 総合評価 (評定) | |
| | 活動計画 ①生徒保健委員会において生徒の自主的な活動を推進し、学校全体の生徒の保健意識の向上や啓発を図るために、次の活動を行う。 (7) シャボネット液・消毒剤の点検・補充 (1) 文化祭で健康意識の啓発展示 (4) 保健ホームルーム活動 (1) 保健だよりのポイント説明・配布 ②生徒の心身の健康管理及び保健指導の充実を図るために、次 | 活動計画の実施状況 | (所見) | |

| | | | | |
|----------------------------------|--|------------|------------------------------|--|
| | の活動を行う。 (7) 保健だよりを年間10回以上発行する。 (1) 応急処置を適切に行うとともに、担任や特別活動課、保健体育科等との連携をさらに密にする。 | | | |
| 2 生徒が心身ともにはつらつとした学校生活を送れるよう支援する。 | 評価指標 ①カウンセリングデーの相談室待機を100%にする。 ②不登校傾向にある生徒や気になる生徒を早期に把握して、カウンセリングの実施等の適切な支援を図る。 ③不適応の症状が見受けられる生徒の把握に努め、早い段階で校内の関係者との連携を図り、対応に努める。 ④特別支援教育の取組を保護者に説明する機会を持つ。 | 評価指標による達成度 | 総合評価 (評定) (所見) | |
| | 活動計画 ①カウンセリングデーの広報を積極的に行う。 ②(7)課内会議やケース会議を随時開催する。 (1)必要に応じてスクールカウンセラーや関係機関との連携を図る。 ③担任・学年団や人権教育課からの情報収集に努め、共通理解を図り、生徒の支援をする。 | 活動計画の実施状況 | | |
| 3 生徒が充実した学校生活が送れるよう支援する。 | 評価指標 ①食堂の営業やパン販売の連絡を100%正確に行い、マナーを守って利用できるようにする。 ②セミナーハウスを正しく利用できた割合を90%以上にする。 ③奨学金の事務処理を正確に行い、奨学金を申請する生徒の100%が正しく申し込み、進路実現に繋げられるようにする。 ④福祉的な募金活動に年2回以上協力する。 | 評価指標による達成度 | 総合評価 (評定) | |
| | 活動計画 ①営業日やメニューの教室掲示を適切に行う。 ②(7)定期的に点検を行い、厚生委員による大掃除を年2回実施する。 (1)「利用心得」を掲示することで、使用の際のマナーの向上を図る。 (ウ)チェックリストを点検時に活用する。 ③(7)奨学金の情報提供や連絡を正確に行う。 (1)個人情報の含まれる書類の取り扱いに十分注意を払う。 (ウ)申請書類を複数体制でチェックする。 ④厚生委員の活動として計画する | 活動計画の実施状況 | | |

シ 教育活動の継続

* 総合評価：目標を大きく達成…A、概ね目標を達成…B、目標を達成できなかった…C

| 重点課題・重点目標 | 評価指標（と活動計画） | 評 価 | 学校関係者評価 | 次年度への課題と方策 |
|-----------------------------------|--|------------|------------------------------|------------|
| I 新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、教育活動の充実をめざす。 | 評価指標 ①感染者等に対する偏見や差別の防止に努める。 ②授業や行事の計画を見直し効果的な実施に努める。 ③新型コロナウイルスの感染拡大防止と効果的な補習授業の計画・実施を並行して行う。 ④教職員、生徒、保護者への感染症の流行状況に応じた情報提供と感染拡大防止への適切な保健指導に努める。 ⑤教職員及び生徒がともに、感染防止等を充分意識しながら、環境衛生活動（清掃活動等）に取り組む。 ⑥テレビ会議システムや資料提供等を通して、異文化学 | 評価指標による達成度 | 総合評価 (評定) (所見) | |

| | | | | |
|---|-----------|--|--|--|
| <p>習の機会を年間3回以上提供する。</p> <p>⑦教職員及び生徒がともに、感染防止等を充分意識しながら、図書館利用の活性化を図る。</p> <p>⑧新型コロナウィルス感染に関する正しい知識を持ち、感染拡大防止に向けて教職員・生徒が全力で取り組み、生徒全員が、目標を持って学校生活が送れるよう援助する。</p> | | | | |
| 活動計画 | 活動計画の実施状況 | | | |
| <p>①各教科の授業やホームルーム活動、学校行事等で、新型コロナウィルス感染症に関する正しい知識を身に付けさせ、偏見や差別が生じないように指導する。</p> <p>②(ア)3密を防ぎ、効果的な実施ができるよう計画する。</p> <p>(イ)オンライン講座等を利用して学習をサポートする。</p> <p>③テレビ会議システムを導入し、複数の教室で同じ講座を同時に実施するなど、時間割と教員配置を調整する。</p> <p>④(ア)検温等、日常の健康観察の徹底と手洗いの励行を推奨する。</p> <p>(イ)教室、トイレ等の清潔の保持と消毒の実施をする。</p> <p>(ウ)出欠状況や疾病の罹患状況、把握に努める。</p> <p>(エ)感染症や登校への不安を抱えた生徒への適切な対応をする。</p> <p>⑤ 年2回の各種委員会の機会だけでなく、常時の活動や学校行事の際も委員会として協力できるようにする。</p> <p>⑥(ア)新型コロナウィルス感染症により、外部講師を招聘することが困難な場合は、テレビ会議システム等を用いて、講演会を実施する。</p> <p>(イ)海外高校生や留学生とのＩＣＴ交流等を通して異文化理解を深める。</p> <p>⑦ウイルス等の感染を充分意識し、窓の開放を心がけ、図書館入館時には手指の消毒を行わせ、図書室内で3密にならないよう、間隔を開けて着席するよう指導する。</p> <p>⑧(ア)家庭とのコミュニケーションを密にし、生徒一人ひとり心身の健康に留意し、素早くフォローできるよう努める。</p> <p>(イ)あらゆる場面を想定して、今できる学習方法について模索し、生徒の学習意欲を高める働きかけを工夫し、学年団で協力して生徒の学力保障に当たる。</p> | | | | |